

二戸市議会議員選 7月19日告示・26日投票

# 鈴木忠幸さん

## 必勝に向けて知人・友人の紹介を



任期満了に伴う二戸市議会議員選挙は、7月19日告示、26日の投票の日程で行われる。今回は15位の辛勝だったが、今回は4人減

(プロフィール)

- ◎生年月日 ■1952年10月3日生まれ (62歳)
- 住所・二戸市仁左平字戸花3-49
- ◎経歴 ■1971年3月・県立大船渡高校卒業
- 1975年10月・若手県職員労働組合二戸支部書記
- 1985年3月・二戸市議会議員初当選
- 2011年7月・二戸市議会議員8期目当選
- ◎現在の役職 ■総務常任委員
- 議会運営委員
- 議会基本条例検討特別委員会副委員長
- 都市計画審議会委員
- 社民党二戸総支部代表



運動の前進に向けて小野委員長の音頭で団結ガンバロー

県職労第113回定期大会

# 職場基軸の運動構築を

## 本部提案議案を賛成多数で承認

県職労は6月20日に第113回定期大会を開催し、組合加入促進などの組織強化、業務実態に見合った人員要求、「給与制度の総合的見直し」阻止・勤務意欲が向上できる賃金・手当の改善、平和で安心な社会の実現に向けた政治闘争の推進など、1年間の運動方針を確立した。

定期大会では、執行部から運動方針を提起ののち、各支部代議員からの熱心な発言・討論により運動方針を補強。採決では賛成多数で承認され、1年間のたまたか方針を確立した。大会では、代議員から、今の厳しい職場実態の改善

て主体的に県職労運動に結集できるよう役員を対象とした学習の強化、来たる二

### 県職労 夏の交流会

青年婦人部

組合に加入してくれたみんなが、体調を崩すことなく、元気に働き続けることができるように、交流学習会を開催します！ぜひ、来てね！

- 日 時：2015年7月25日(土) 13:30~17:00
- 懇親会は18:00~(別途お知らせします)
- 場 所：自治労岩手県本部(盛岡市南大通2-10-38)
- 内 容：◎健康でおいしいスイーツセミナー
- 講師：つぶつぶマザー伊藤信子さん
- ◎ミニ学習
- 「県職員なら知っておいた方がいい基礎知識」
- ◎分散会

申込み先：各支部書記局 氏名 分会名

↓該当する場合は、○をお願いします。・懇親会にも参加・宿泊を希望

# 戦争法案の制定許さない!

## 戦争させない 県委員会 6・13県民総決起集会を開催

戦争させない岩手県委員会(代表・石橋乙秀弁護士)が主催する「戦争させない!岩手県民総決起集会」が6月13日盛岡市の県公会

意見書」と『労働基準法と労働者派遣法改悪反対』の意見書を提出し、多数の賛成で採択。地方の意見を国会に提出することができた」と報告。自身も厳しい状況を打開すべく連日奮闘しているとして述べ、何としても勝ち抜き住民自治の確立に向けて頑張りたいと決意を表明するとともに、さらなる支持拡大での取り組みの協力を訴えた。



戦争法案の制定ストップを訴えたデモ行進

野古新基地建設反対の取り組みを先頭で頑張っている沖繩県教職員組合の山本隆司委員長から「在沖米軍をめぐる『4つの都市伝説』と題して講演があった。『在日米軍基地の約74%が沖繩に集中している実態に対し、安保条約があるから仕方がないという世論がある。しかし、今の米軍基地は安保条約が沖繩に適用する以前に、戦前の日本軍及び戦後の米軍による『銃剣とブルドーザー』により市民から強奪したものだ。政府は普天間基地の辺野古移設を強行しているが、沖繩にとつ

ては強奪された土地の返還を求めているだけ。その中で敢えて辺野古基地移設に加担する理由はない」「沖繩は米軍基地にほとんど経済依存していない。むしろ経済発展の阻害要因ではない」「沖繩自体への構造的な差別にこそ問題がある。政府が沖繩に基地を固定化しようとする意図はそこにある」と政府の姿勢を指摘した。沖繩の反戦平和の闘いから、戦争する国づくりを進める安倍政権を倒し、平和憲法の理念を実現していく決意が述べられた。また、参加者全体で、全国で平和憲法擁護の運動に結集していくことが確認された。集会後には参加者による盛岡市内のデモ行進が行われ、「戦争法案の制定阻止」を訴えた。

### 第五世代

夏至の日に、ライトダウンキャンペーンが行われ、夜8時の消灯が行われた。省エネ・節電の取組の一つである。しかし、また電気を付けて仕事を始めている職場も少なくない▼職員は、節電に協力したくないわけではない。人員が1千2百人も減らされ、欠員が145人もいるため、残業しないと終わらないのだ▼この夏至に電気を消す行動は、13年前に、「100万人のキャンドルナイト」という市民運動から広がった。2001年にアメリカが「1カ月に1基ずつ原子力発電を建設する」という政策を発表したことにカナダが反対して「自主停電運動」をしたことをヒントに始まった。「電気を消してスロウな夜」をみんなが過ごす行動。呼びかけ人は、キャンドルの灯りの元で家族と語りあったり、子どもに本を読んでもあげたりすることで、日常では見えなかったことが見えてくるかもしれないと言っていた▼仕事で忙しくなると家族より仕事を優先しなければならぬ雰囲気がつくられてしまふ。考える時間もつれなくなり、大切なことを見失ってしまふ。一人ひとり自分や家族の時間をつくらせて抵抗するのをもひとつの方法ではないだろうか。

### 人生子報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょ。入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。5大成人病の入院も手厚くカバー。◆お問い合せ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命花消

全労協 自治労共済本部



奥州市内を走ったリレー参加者による集合写真(県職労胆江支部&奥州市職労)

# 平和を訴え 反核・平和の火リレー 171人が県内を走り継ぐ

『核兵器の悲劇・悲惨さを語り継ぎ、核廃絶を訴える』ため、反核平和の火リレーが6月5日から7日にわたって行われ、総勢171人の青年・女性のランナーが参加し、県職労からも10人が参加した。広島市の平和公園に燃え続ける「平和の灯」から採火した「平和の火」をトーチに掲げ県内を走りつないだ。

## ◆人とのつながりを感じた

走る前は1キロから...と思っただけでしたが、気持ちよく走れて運動不足も解消された気がします。人とのつながりが広がってよい取り組みだと思います。

(胆江支部 鎌田郁美)

## ◆来年もぜひ走りたい

昨年度、広島の旅に参加させていただき今回繋いだ平和の火が、あの地へ繋が



トーチを手に力走するランナー

るんだと思うと、とてもうれいです。

No more ヒロシマ (胆江支部 天瀬和真)

## ◆多くの人の参加に驚き

走ってはいませんが、応援で参加しました。見ていて、そして写真を撮って

## ◆参加できてよかった

平和の火リレーに参加させていただいたので、このような活動が行われていることを初めて知りました。短い距離でしたが、広島の火を繋ぐことができて良かったです。また、とてもいい運動になったかなと思います。

(胆江支部 菊池映美)

## STOP THE 格差社会 暮らしの底上げ実現キャンペーン

# 生涯派遣にNO! 労働者保護ルール改悪許さない

連合5.27県中央集会

5月27日、連合は「STOP THE 格差社会ー暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾として、27全国統一集会を東京・文京シビックホールで開催、全国20カ所の会場にネット中継しながら働く者の連帯を確認した。

岩手でも午後6時から盛岡市の岩手教育会館大会ホールで県中央集会が開催された。

県中央集会には約480人が参加。豊巻連合岩手会長は「政府与党は、2度も廃案になった労働者派遣法を懲りずにまた出した。今まさに国会で審議が行われているが、連合はこの法案の阻止に向けて全力を挙げる」とし、「派遣労働は臨時的・一時的に限る」との原則を撤廃し、均等待

遇の原則を先送りするもので、生涯派遣で低賃金を増やす改悪法案だ」と断じ、働く者の連帯で法案阻止と安倍政権の暴走にストップをかけようと呼びかけた。情勢報告等を受けた後、「若者たちから安定した雇用を奪う改悪法案の成立を断固阻止しよう。それが私たち世代の責任である」と

## 一関支部

### 後任に小田中貴子さん 小野寺書記が退職

一関支部の小野寺裕美子書記が5月末で退職したことに伴い、6月1日 支部業務を担っていただ



小田中貴子書記

組合員の皆さんのご協力をお願いいたします。



労働者保護ルール改悪反対を訴えて盛岡市内をデモ行進

とはできない。巨大与党の暴走を、働く者の団結で止めなければならない。まさにこれからが正念場。われわれ働く者の怒りを国会にぶつけていこう。」と訴えた。

また、連帯のあいさつに立った渥美由喜氏(内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー)は「働きがいのある職場こそ優秀な人材が集まる。働く人だれもが家庭や地域の役割も担っており、私たちの時間は会社のためだけにあるのではない。今たまたかわずしていつ闘うのか。連合の運動に心から連帯する。」と檄を飛ばした。

## 第2回 佐高 信 文化塾

■日時: 2015年7月11日(土) 午後2時開演

■会場: 自治労岩手県本部会議室  
盛岡市南大通り2-10-38  
☎019-654-1702

■講師: 目加田 説子さん  
講演テーマ  
「戦後70年、世界の中の日本」(仮題)  
【プロフィール】  
中央大学総合政策学部教授  
国際政治学者  
TBSサンデーモーニング解説者  
※受講料: 500円 (詳しくは各支部書記局まで)



東日本大震災・被災三県自治体職員対象の電話相談

## 自治労ほっとダイヤル

☎0120-556-283  
フリーダイヤル ところ っばき

携帯・PHSからも無料です。

受付 水曜18:00~21:00  
土曜13:00~18:00



- からだの不調が気になる
- 仕事で行きづまっている
- イライラ、ドキドキ、メソメソしてしまう...など

お話を聞くのは東京の相談員、もちろん秘密厳守・匿名です。